

平成25年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・前期・A群		
	対象学科・専攻	情報工学科		
物理学基礎Ⅰ (Basic Physics I)	担当教員	眞竹 善徳 (Matake, Yoshinori)		
	教員室	非常勤講師室 (tel.42-2167)		
	E-Mail	matake19 @ buz.bbiq.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 1単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 15回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 物理学のみならず、専門科目の基礎ともなる力学を基本から学習する。1、2年次に学習した数学を活用し、自然現象の本質を抽出する物理的なものの見方、考えかたを身につける。				
[本科目の位置付け] 三角関数、ベクトル及び微積分の基礎知識が必要である。本科目を修得すれば初等力学の基礎が身に付き、習熟度により様々な力学現象への定量的応用能力が高まる。				
[学習上の留意点] 予習復習はもちろん、演習問題等を通して積極的に自学する姿勢が重要である。1年次の教科書「力学Ⅰ」を利用するとよい。授業の進捗状況に応じて、演習として適宜平常テストを課す。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 位置・速度・加速度	6	<input type="checkbox"/> 微積分を用い、物体の位置・速度・加速度の関係性を理解できる。 <input type="checkbox"/> 2次元極座標に関する位置、速度、加速度を理解できる(半径一定、角速度一定の場合)。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書p.8-p.24を読み、理解できなかった内容を把握しておき、例題・問題を解いておくこと。
2. 運動方程式と運動の三法則	8	<input type="checkbox"/> 運動法則を説明でき、力、加速度及び質量についての計算ができる。 <input type="checkbox"/> 微分方程式を解く流れを理解できる。 <input type="checkbox"/> 一定の外力、重力、弾性力が働く場合の運動方程式を理解できる。 <input type="checkbox"/> 空気抵抗が働く場合の落下運動を理解できる。 <input type="checkbox"/> 連結物体の運動など、具体的問題に対応できる。 <input type="checkbox"/> 等速円運動を理解できる。 <input type="checkbox"/> 万有引力を理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書p.26-p.43を読み理解できなかった内容を把握しておき、例題・問題を解いておくこと。万有引力に関しては、参考図書・力学Ⅰを復習しておくこと。
—前期中間試験—		—授業項目1～2の達成度を確認する—		
3. 回転に関する運動方程式	4	<input type="checkbox"/> ベクトルの外積を理解できる。 <input type="checkbox"/> 角運動量を理解できる。 <input type="checkbox"/> 力のモーメントを理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書 p.44-p.51を読み、理解できなかった内容を把握しておき、例題・問題を解いておくこと。
4. 座標変換と慣性力	6	<input type="checkbox"/> 慣性系を理解できる。 <input type="checkbox"/> 慣性力・遠心力を理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書 p.52-p.61を読み、理解できなかった内容を把握しておき、例題・問題を解いておくこと。
5. 問題演習 (随時)	4			
—前期期末試験—	2	—授業項目3～4について達成度を確認する—		
試験答案の返却・解説	2	各試験において、間違えた部分を理解出来る。		
[教科書] 力学Ⅱ (大日本図書)				
[参考書・補助教材] 力学Ⅰ (大日本図書)				
[成績評価の基準] 前期中間及び期末試験(70%) + 平常テスト(30%)				
[本科(準学士課程)の学習・教育目標との関連] 3-a				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEEとの関連]				

Memo

.....

.....

.....

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	情報工学科		
電気磁気学 (Electromagnetism)	担当教員	武田 和大 (Takeda , Kazuhiro)		
	教員室	情報工学科棟 5 階 (TEL : 42-9092)		
	E-Mail	takeda@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 電気磁気学について理解する. 2 年次に修得した電気・電界にかかわる現象に続き, 磁気・磁界に係わる現象について学ぶ.				
[本科目の位置付け] 2 年次の電気磁気学と本科目で電気磁気学の全体系を学ぶ. ハードウェア関連の工学にかかわる基本原理であり, それらへの基礎的理解力を修得する.				
[学習上の留意点] 微分, 積分等, 数学の力が必要. 数式が表現している物理的な意味を捉えるように努めること. 例題を理解するようにし, 演習問題などは必ず自分の力で解いておくこと. 分からない点は図書館などで調査, あるいは質問してそのままにしておかないこと.				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 真空中の静磁界 —前期中間試験—	14	<input type="checkbox"/> 電流と磁界の発生及び磁束と磁束密度について理解できる. <input type="checkbox"/> 電荷に働くローレンツ力の現象を理解できる. <input type="checkbox"/> ビオ・サバールの法則, アンペアの法則を適用して, 問題を解くことができる. <input type="checkbox"/> 「磁束鎖交数」の意味について理解できる. <input type="checkbox"/> 電磁力, 磁界中の電流に働く力を定量的に解析できる. 授業項目 1.について達成度を確認する.	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	第6章の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておくこと.
2. 磁性体 —前期期末試験—	14	<input type="checkbox"/> 物質の磁氣的性質の起源, 磁化の強さ, 磁化電流, 磁界を理解できる. <input type="checkbox"/> 磁性体の磁化を含んだアンペアの法則を応用できる. <input type="checkbox"/> 透磁率, 磁界と磁束密度に関する境界条件について理解できる <input type="checkbox"/> 磁化曲線の物理現象を理解できる. <input type="checkbox"/> 磁界に関するガウスの法則について理解できる 授業項目 1.~2.について達成度を確認する.	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	第7章の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておくこと.
3. 電磁誘導	14	<input type="checkbox"/> ファラデーの法則, レンツの法則を理解し, 導体の運動による起電力の問題を解くことができる <input type="checkbox"/> フレミングの右手の法則, 左手の法則を解釈できる. <input type="checkbox"/> 単極誘導, 渦電流, 表皮効果の現象を理解できる.	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	第8章の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておくこと.
4. インダクタンス —後期中間試験—	2	<input type="checkbox"/> 自己インダクタンスと相互インダクタンス, 磁気エネルギーについて理解できる <input type="checkbox"/> 自己及び相互インダクタンスを計算できる. 授業項目 1.~4.について達成度を確認する.	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	第9章の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておくこと.
5. インダクタンス(続き)	6	<input type="checkbox"/> 自己インダクタンスと相互インダクタンス, 磁気エネルギーについて理解できる <input type="checkbox"/> 自己及び相互インダクタンスを計算できる.	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	第9章の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておくこと.
>>> 次頁へつづく >>>				

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	情報工学科		
電 気 回 路 (Electric Circuits)	担当教員	玉利 陽三 (Tamari, Youzou)		
	教員室	情報工学科棟 5 階 (TEL : 42-9098)		
	E-Mail	tamari@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 工学の基礎科目である電気回路を理解する。電気回路の中の交流回路, 四端子回路網, ひずみ波交流, 過渡現象等の修得を目標とする。				
[本科目の位置付け] 数学の基礎的な知識および 2 年次の電気回路の知識が必要である。				
[学習上の留意点] 復習は不可欠である。演習問題が与えられたときは, 必ず自分の力で解いておくこと。分からない問題等は, 図書館などで調査し, あるいは質問してそのままにしておかないこと。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 交流回路計算の諸方法	28	<input type="checkbox"/> 相互誘導回路について理解し, 諸量を計算できる。 <input type="checkbox"/> ベクトル軌跡について理解し, 簡単な回路のベクトル軌跡を描くことができる。 <input type="checkbox"/> キルヒホッフの法則を理解し, 電流を計算できる。 <input type="checkbox"/> 等価電源を理解し, 電圧源と電流源の相互変換ができる。 <input type="checkbox"/> 重ね合わせの理を理解し, 利用することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	交流回路計算の諸方法の章を読んで概要を把握しておく。
---前期中間試験---		授業項目 1 の一部について達成度を確認する。		
		<input type="checkbox"/> テブナンの定理を理解し, 利用することができる。 <input type="checkbox"/> ノートンの定理を理解し, 利用することができる。 <input type="checkbox"/> ミルマンの定理を理解し, 利用することができる。 <input type="checkbox"/> スターデルタ変換を導出でき, 利用することができる。 <input type="checkbox"/> 最大有効電力定理を理解し, 電力が最大になるインピーダンスを求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
---前期期末試験---		授業項目 1 の一部について達成度を確認する。		
2.2 端子対回路網	8	<input type="checkbox"/> インピーダンスパラメータを求めることができる。 <input type="checkbox"/> アドミタンスパラメータを求めることができる。 <input type="checkbox"/> 4 端子定数を求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2 端子対回路網の章を読んで概要を把握しておく。
3. ひずみ波	10	<input type="checkbox"/> フーリエ級数を理解する。 <input type="checkbox"/> 実効値を理解し, 求めることができる。 <input type="checkbox"/> ひずみ電力を理解し, 求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ひずみ波の章を読んで概要を把握しておく。
---後期中間試験---		授業項目 2 と 3 の一部について達成度を確認する。		
4. 過渡現象	12	<input type="checkbox"/> 過渡現象を理解し, 簡単な回路の過渡応答を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	過渡現象の章を読んで概要を把握しておく。
---後期期末試験---		授業項目 3 の一部と 4 について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を理解できる。		
[教科書] 電気回路 (1) 早川義晴/松下祐輔/茂木仁博 コロナ社 電気回路 (2) 阿部鍼一/柏谷英一/亀田俊夫/中場十三郎 コロナ社				
[参考書・補助教材] 特になし				
[成績評価の基準] 中間試験および期末試験(80%) + レポート(20%) - 授業態度(20%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 3-c				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEE との関連]				

Memo

平成25年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群		
	対象学科・専攻	情報工学科		
電子回路 (Electronic Circuits)	担当教員	武田 和大 (Takeda, Kazuhiro)		
	教員室	情報工学科棟5階 (TEL: 42-9092)		
	E-Mail	takeda@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 30回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] トランジスタ・FET・OPアンプの動作・特性を知り, これらを用いた増幅回路・OPアンプ回路の構成と諸特性, 直流電源回路を中心としたアナログ回路およびデジタル回路の基礎について学ぶことを目標とする。				
[本科目の位置付け] いろいろな電子回路や電気通信・デジタル回路を理解する上で必要である。				
[学習上の留意点] 電気回路をきちんと理解していることが必要。分からない点は図書館などで調査, あるいは質問してそのままにしておかないこと。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 半導体とトランジスタ	4	<input type="checkbox"/> 半導体の種類, キャリアの働き, 構成を理解できる <input type="checkbox"/> 記号・端子名, 電流の流れと特性を理解できる	<input type="checkbox"/>	4-12 ページの内容について, 概要を把握しておくこと。
2. トランジスタの基本回路	6	<input type="checkbox"/> トランジスタの基本回路, 静特性を理解できる	<input type="checkbox"/>	41-45 ページの内容について概要を把握しておくこと。
3. hパラメータとトランジスタ等価回路	6	<input type="checkbox"/> hパラメータの定義と関係式, トランジスタの等価回路, 動作量を理解できる	<input type="checkbox"/>	23-25 ページの内容について概要を把握しておくこと。
— 前期中間試験 —		授業項目1~3について達成度を確認する。		
4. トランジスタのバイアス回路	12	<input type="checkbox"/> 各種電圧増幅回路について動作を把握し, その特性を理解できる	<input type="checkbox"/>	29-32 ページの内容について概要を把握しておくこと。
— 前期期末試験 —		授業項目4について達成度を確認する。		
5. 直流増幅回路	7	<input type="checkbox"/> オフセットとドリフト, 直接結合増幅回路, ダーリントン接続, 差動増幅回路の構成と特徴を理解できる	<input type="checkbox"/>	62-67 ページの内容について概要を把握しておくこと。
6. OPアンプ	9	<input type="checkbox"/> 理想オペアンプの性質, オペアンプの特徴, 反転増幅器, 非反転増幅器について理解できる	<input type="checkbox"/>	142-156 ページの内容について概要を把握しておくこと。
— 後期中間試験 —		授業項目5~6について達成度を確認する。		
7. 電源回路	8	<input type="checkbox"/> 整流回路・平滑化回路・直流定電圧回路について理解できる。	<input type="checkbox"/>	129-141 ページの内容について概要を把握しておくこと。
8. FET	4	<input type="checkbox"/> 電界効果トランジスタの種類と構造, 動作について理解できる	<input type="checkbox"/>	13-18 ページの内容について概要を把握しておくこと。
9. デジタル回路の基礎	2	<input type="checkbox"/> 論理回路, フリップフロップなどの基礎を理解し説明できる	<input type="checkbox"/>	172-173 ページの内容について概要を把握しておくこと。
— 後期期末試験 —		授業項目1~9について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を理解できる		
[教科書] 電子回路基礎 根岸照雄ほか コロナ社				
[参考書・補助教材] 配布資料				
[成績評価の基準] 中間試験および期末試験成績(95%)+小テスト・レポート等(5%)—授業態度(20%)				
[本科(準学士課程)の学習・教育目標との関連] 3-c				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEEとの関連]				

Memo

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	情報工学科		
情報処理Ⅲ (Information Processing Ⅲ)	担当教員	豊平 隆之 (Toyohira, Takayuki)		
	教員室	情報工学科棟 5 階 (TEL : 42-9090)		
	E-Mail	toyohira@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 2 年次の情報処理Ⅱの講義に引き続き, 実務上広く使われている C でのプログラミングを学ぶ。				
[本科目の位置付け] 本科目を修得した場合, プログラミングを使用する科目の基礎となる。				
[学習上の留意点] 教科書の基本的な例題, 演習問題を中心に演習を進めていく。事前に机上で例題プログラムを予習し, 練習問題に取り組むといった努力をしなければプログラミングの能力は身につかない。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 構造体	14	<input type="checkbox"/> 構造体の定義, 構造体変数の宣言を理解し, 応用できる。 <input type="checkbox"/> 構造体メンバ, 構造体の代入を理解し, 応用できる。 <input type="checkbox"/> 列挙型の定義, 列挙型変数の宣言を理解し, 応用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	構造体の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておく。
--- 前期中間試験 ---		授業項目 1 について達成度を確認する。		
2. おもしろいプログラム	14	<input type="checkbox"/> エラトステネスのふるいによる素数表を理解できる。 <input type="checkbox"/> ライフゲーム, 再帰呼び出し, ハノイの塔, クイックソート, 8 クイーン問題を理解できる。 <input type="checkbox"/> 分割統治法やバックトラックを応用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	おもしろいプログラムの内容について, 教科書をよんで概要を把握しておく。
--- 前期期末試験 ---		授業項目 2 について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を理解できる。		
3. 総合演習	14	<input type="checkbox"/> 今までに学習した項目を利用して, 実用的なまた役に立つプログラムを作成できる。	<input type="checkbox"/>	作成すべきプログラムの仕様を事前に提示するので概要を把握しておく。
--- 後期中間試験 ---		授業項目 3 について達成度を確認する。		
4. データ構造	14	<input type="checkbox"/> リスト構造, 双方向リストを理解できる。 <input type="checkbox"/> キュー, スタックを理解できる。 <input type="checkbox"/> リンク配置を応用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	データ構造について, 事前に配布する資料を読んで概要を把握しておく。
--- 後期期末試験 ---		授業項目 4 について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を理解できる。		
[教科書] C・C++入門 松林 勝志 他共著 森北出版				
[参考書・補助教材] プログラミング言語C 第2版 石田晴久訳 共立出版				
[成績評価の基準] 中間試験および期末試験(100%) - 授業態度(20%)				
[本科(準学士課程)の学習・教育目標との関連] 3-c				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEE との関連]				

Memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	情報工学科		
言語処理系 (Language Processors)	担当教員	堂込 一秀 (Dougome, Kazuhide)		
	教員室	情報工学科棟 4 階 (TEL : 42-9096)		
	E-Mail	dougome@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 言語処理系の機能と構造を知り, テキストファイルの解析技術を修得することを目標とする。				
[本科目の位置付け] C 言語など的高级言語によるプログラミング経験が必要である。第 4 学年では, 本科目の学習内容に基づいてクロスコンパイラを開発する実験が予定されている。				
[学習上の留意点] コンパイラの理論は集合の記法を用いて記述されることが多いので, 読解できるようになっておくこと。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 概論	4	<input type="checkbox"/> プログラミング開発環境の構成要素とその役割を示せる	<input type="checkbox"/>	配布プリントを読むこと
2. 文法の記述法	10	<input type="checkbox"/> 文法を定める記述法と意味を示せる	<input type="checkbox"/>	
—中間試験—		授業項目 1 から 2 について達成度を確認する		
3. 字句解析	14	<input type="checkbox"/> 正規表現から最簡形決定性有限オートマトンへ変換できる	<input type="checkbox"/>	
—期末試験—		授業項目 3 について達成度を確認する		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を理解できる		
4. 構文解析	14	<input type="checkbox"/> 上向き構文解析法と下向き構文解析法の動作を示せる	<input type="checkbox"/>	
—中間試験—		<input type="checkbox"/> 授業項目 4 について達成度を確認する	<input type="checkbox"/>	
5. コード生成	10	<input type="checkbox"/> 式, 制御文, 関数に対するコード生成手法を示せる	<input type="checkbox"/>	
6. 最適化	2	<input type="checkbox"/> 最適化の手法を示せる	<input type="checkbox"/>	
7. アセンブリ言語と機械命令	2	<input type="checkbox"/> アセンブラの機能と動作を示せる	<input type="checkbox"/>	
—期末試験—		授業項目 5 から 7 について達成度を確認する		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を理解できる		
[教科書] なし				
[参考書・補助教材] なし				
[成績評価の基準] 試験の加重平均 (80%) + 宿題 (20%) - 授業態度 (最大 40%). 中間試験および期末試験以外に試験を実施する場合がある。 各試験の重みは原則として均等であるが, 分布に著しい偏りを認めた場合には補正することがある。 授業妨害行為および正当な理由のない欠席は, その程度に応じて授業態度分を減点する。				
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 3-c				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEE との関連]				

Memo

.....

.....

平成25年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群		
	対象学科・専攻	情報工学科		
電子計算機 I (Computer Engineering I)	担当教員	芝 浩二郎 (Shiba, Kojiro)		
	教員室	情報工学科棟4階 (TEL: 42-9095)		
	E-Mail	k_shiba@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 30回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 電子計算機のハードウェアの構造, 動作原理の基本について理解する。				
[本科目の位置付け] 電子計算機のハードウェアの構造, 動作原理の基本について理解する。				
[学習上の留意点] 論理回路の知識が必要である。本科目は3学年と4学年の工学実験の理論的な説明になっているので十分な理解が必要である。授業の始めに前週の重要事項の小テストを実施する。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. コンピュータ アーキテクチャとは	12	<input type="checkbox"/> コンピュータシステムの全体像のイメージをつかむ <input type="checkbox"/> コンピュータシステムにおけるハードウェアとソフトウェアの機能分担を理解できる。 <input type="checkbox"/> コンピュータ技術の歴史とコンピュータアーキテクチャ理解できる。 <input type="checkbox"/> ノイマン型の基本ハードウェア構成を理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p.1-p.28の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
---前期中間試験---		授業項目1について達成度を確認する。		
2. 基本アーキテクチャ	16	<input type="checkbox"/> コンピュータシステムの心臓部に相当するCPUの全体像を把握する <input type="checkbox"/> 命令セットアーキテクチャ理解できる。 <input type="checkbox"/> アセンブラを理解し, 応用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p.29-p.72の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
---前期期末試験---		授業項目2について達成度を確認する。		
3. コンピュータにおける 数表現	8	<input type="checkbox"/> コンピュータの数値データの扱い方 <input type="checkbox"/> r 進数表現を理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> 固定小数点と浮動小数点理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> 2進コード理解し応用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p.73-p.98の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
4. 論理回路	8	<input type="checkbox"/> コンピュータのハード設計で使用する回路の扱い方 <input type="checkbox"/> ブール代数と論理演算理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> 組み合わせ回路理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> 順序回路理解し応用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p.99-p.122の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
---後期中間試験---		授業項目3, 4について達成度を確認する。		
5. 制御アーキテクチャ	14	<input type="checkbox"/> コンピュータハード設計の中心部である制御部設計のための知識の習得 <input type="checkbox"/> 制御アーキテクチャを理解できる。 <input type="checkbox"/> コンパイラ/OSとのインターフェイスを理解できる。 <input type="checkbox"/> 割り込みを理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p.123-p.163の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
---後期期末試験---		授業項目5について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を理解出来る。		
[教科書] コンピュータアーキテクチャの基礎, 柴山潔, 近代科学社				
[参考書・補助教材] 日経エレクトロニクス, トランジスタ技術, インターフェイス				
[成績評価の基準] 中間試験および期末試験成績 (75%) + 小テスト (25%) - 授業態度 (最大 20%)				
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 3-c				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEE との関連]				

Memo

